

日本代表選手が健闘！ WLC2014 in スイス・ブリエンツ



本誌7月号(No.88)でもご紹介したWLC(世界伐木チャンピオンシップ)が、去る9月10日から13日まで4日間わたって、スイス中央部のブリエンツで開催されました。世界26カ国から全105名が参加し、伐木技術を競い合いました。

日本からは、5月に青森県で行われた第1回日本大会を勝ち抜いた前田智広さん(青森県)、今井陽樹さん(群馬県)、秋田貢さん(青森県)、先崎倫正さん(青森県)の4名が、初の日本代表選手として参戦しました。

競技の結果、プロフェッショナルクラスでは、今井さんの全78名中61位が最高位となりました。また、24歳未満のジュニアクラスで出場した先崎さんは、伐倒競技で全23名中7位、総合でも15位と健闘が光りました。

国内での予選会を経て、初の日本選手団を送り込んだ今大会は、個人参加だった前回大会に比べ全体的に順位を上げましたが、各国選手のレベルは更に向上しており、結果として世界の壁の厚さを再認識させられる結果となりました。

しかし、日本選手団の健闘は、我が

国の林業技術と安全作業の向上に貢献するとともに、林業の魅力のPRに大きな役割を果たしました。今後、国内においてもWLC競技人口の裾野が広がり、ひいてはこれらの大会が将来の林業を担う人材の育成につながることを期待されます。

次回大会は、2年後の2016年にポーランドで開催されます。

日本選手団から一言

(全国森林組合連合会系統事業部購買課 本多孝法さん)

私はチームリーダーとして大会に参加しました。日中は選手のみならず、審判やボランティアも競技に真剣に取り組む一方、夜は国を越えて交流が行われました。また、選手控えテントでは、選手同士がチェーンソーの整備や各競技の注意点について意見交換をする風景が印象的でした。

今回の経験を生かして、林業の担い手の育成にもつなげるよう国内大会の発展と競技人口の拡大を目指していきたいと思っております。

日本伐木チャンピオンシップ(JLC)の専用ホームページ
<http://www.ringyou-goods.net/jlc/>



(写真提供：全国森林組合連合会)